

令和5年度 福井市成和中学校 スクールプラン

■福井市学校教育目標

郷土福井に誇りを持ち、
たくましく生きる子供の育成

■福井市学校教育方針

学びをつなぐ・未来につなげる
～「つながる」を大切に
した学校づくり～

■生徒の実態

- ・明るく素朴で素直である
- ・何事にも真面目に取り組む
- ・主体的に活動することが苦手

■地域と歩む学校

- ・家庭・地域・学校協議会の充実
- ・家庭教育力の向上をめざすPTA活動
- ・地域で育む望ましい社会規範意識
- ・生徒の健全育成サポート機関等との連携

郷土福井を大切にしたい 90%



めざす
学校像

伝統を大切にし、自他ともに誇れる学校

校訓

誠実
敬愛
自主

教育
目標

国際社会を生き抜く人間性豊かな生徒の育成

めざす
生徒像

- ・夢や希望を持ち、主体的に学びに向かう生徒
- ・自他を尊重し、敬愛の念豊かな生徒
- ・たくましく、粘り強く努力する生徒

以和為貴、何事不成

■めざす教師像と合い言葉

- ・豊かな人間性と人権感覚をもち、生徒との信頼関係を築く教職員
 - ・生徒の良さや可能性を伸ばす教職員
 - ・組織人としての責任感と協調性を有し、互いに高め合う教職員（チーム成和）
 - ・「めざす生徒像」の実現に向けた明確なビジョンをもち、諸事徹底する教職員
- ①甘やかさない温かさ
と冷たくない厳しさ
②共助体制の確立

■中学校区教育の推進

- 主体的に行動し、共に学びをつなぎ合う
児童・生徒の育成
- ・主体的・対話的で深い学びの充実
 - ・いじめを許さない人権教育の推進
 - ・望ましい生活習慣の定着と体力向上の推進
 - ・地域に根ざした教育の推進

<生徒会テーマ> 「日本一の学校」

<研究主題>

「学びをつなぎ、高め合う生徒の育成」

- ・学びの成果の振り返りができる授業づくり
- ・生活に結びつく道徳の授業づくり
- ・生徒が成果と課題を発信できる授業づくり

居場所づくり・絆づくり

■相手を尊重し、認め合う生徒

- 生徒の心と心をつなぐ
- ・居場所は教師、絆は生徒がつくる
- ・生徒会や学年・学級における生徒の主体的な活動の推進
- ・人とのつながりを大切に、思いやりや実行力あるリーダーの育成
- ・学校不適應の未然防止と早期発見
- ・集団(学年や学級、部活動等)への所属感と自己有用感の獲得

みんなと何かをするのは楽しい 95%
思いやりをもって協力する 95%
教師は生徒の良さを認める 95%

わかる授業づくり

■主体的に学びに向かう生徒

- 次の学びへつなぐ
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業
- ・生徒の学習意欲を高める学習課題と教師相互の積極的な授業参観
- ・一貫した学習規律の徹底
- ・ICTを組み合わせた授業の質の向上
- ・基礎基本の定着と家庭学習習慣化

授業がよくわかる 90%
授業に主体的に取り組む 95%
自分の考えを深め広げる 90%

心づくり・体づくり

■規律正しく、たくましい生徒

- 安心・安全な学校につながる
- ・成和五本柱(挨拶、時間、身なり、清掃、聴き方)の徹底
- ・生徒理解に基づく生徒指導と支援
- ・スマートルールの遵守を柱とした情報モラル教育の充実
- ・いじめアンケートの月1回実施
- ・基礎体力向上に向けた運動量の確保と食育の推進

学校が楽しい 95%
自分で考え・判断・行動する 90%
いじめ解消率 100%

重点
目標

具体的
取組

信頼される学校づくり

- ※生徒一人一人を大切にする教育
- ※生徒の良さや可能性を伸ばす教育
- ※保護者や地域住民(電話や来校者含む)への丁寧かつ誠意ある応対
- ※学校・学年通信やブログ等による教育活動に係る情報発信
- ※9年間の学びの一貫性と円滑な小中接続に向けた中学校区教育
- ※地域団体主催行事への積極的な生徒参画と人的資源の有効活用

学校は生徒個々を大切に〔保〕90%
学校に気軽に相談できる〔保〕85%
安全面を適切に指導〔保〕90%

数値
目標

<業務改善>

- ・教員の適正な勤務時間に係る取組等

- 教育課程の見直し
- 学校・学年行事や会議等の精選
- 校内LANによる情報共有とタブレット活用によるペーパーレス化
- 職員退勤時刻(平日午後8時、水曜は午後6時)
- 勤務開始時刻及び登校時間(7時50分～8時05分)と下校時刻(夏季午後6時、冬季5時30分)
- 諸会議60分(最大90分)以内に終了
- 部活動の休養日(水曜ノ一部活動デー)や活動時間の遵守、部活動数の適正化
- 業務推進日(繁忙期は清掃や5・6限授業カット)
- 職員朝礼、一斉家庭訪問の廃止
- 文書事務及び決裁の効率化